

神田明神に勢ぞろいした製薬メーカーのキャラクター



知ってる？
OTC医薬品の
選び方・使い方

OTC医薬品の分類

OTC医薬品の分類		対応する専門家
要指導医薬品		薬剤師
第1類医薬品		
一般用医薬品	第2類医薬品	薬剤師または登録販売者
	第3類医薬品	

OTC医薬品が対象になるわけではなく、パッケージに「税/控除/対象」というマークが印刷されている「スイッチOTC薬」^(*)が対象になります。なお、2022年1月からは対象が特定の成分と効能効果を有する医薬品に拡大されます^(**)。

医療費控除の場合は、治療のために購入したOTC医薬品の購入費が控除の対象になります。この2つの制度はいずれか一方の選択制です。

OTCとはOver The Counterの略で、カウンター越しに薬剤師や登録販売者が販売することを意味しています。つまり、OTC薬には医療機関を受診するほどでもない不調であれば薬剤師に相談しながら自分で病気や症状に適した薬を購入して自らの健康を維持できるようにしようという意味があります。

このような、自分の健康は自分で守る「セルフメディケーション」の考え方は、寿命が長くなり、医療費の増大が懸念される現在、非常に重要になっています。セルフメディケーションで使用するOTC薬の正しい使い方を知ることは、これからの自分の健康を積極的に守ることに大いに役立つはずです。

Q 薬剤師に相談しないOTC医薬品は買えない？

A 表のように、OTC医薬品は要指導医薬品と一般用医薬品に分けられています。要指導医薬品と第1類医薬品はレジカウンター⁽¹⁾の後ろ側の棚に保管されるなど、ほかの医薬品とは別に陳列され、店内の棚には空箱が置いてあることもあります。これらは薬剤師から書面によって使用方法や飲み合わせについての説明を受けなければ購入できません。

第2類医薬品、第3類医薬品は購入者自身が店頭で選んで購入できます。ただし、症状に合った薬を選ぶには、薬剤師や登録販売者に相談するのがおすすめです。

Q OTC医薬品を購入するメリットは？

A 医師の診療を受けたり、薬局で処方薬を受け取ったりするには待ち時間がかかりますが、OTC医薬品であればそうした時間を減らすことができます。花粉症や口内炎など再発した病気を早期に治療できる点もメリットです。また、OTC医薬品はセルフメディケーション税制による所得控除や医療費控除を受けることができます。ちなみにセルフメディケーション税制は、対象となる薬の購入額の合計が1年間で1万2000円を超えたときに利用できます。すべてのOTC医薬品が対象になるわけではなく、パッケージに「税/控除/対象」というマークが印刷されている「スイッチOTC薬」^(*)が対象になります。なお、2022年1月からは対象が特定の成分と効能効果を有する医薬品に拡大されます^(**)。

よく知って、正しく使おう OTC医薬品

イベント
報告



27社が出展したイベント会場

2021年10月8日、9日の2日間にわたって、第14回OTC医薬品普及啓発イベント「よく知って、正しく使おうOTC医薬品」が東京都千代田区にある神田明神文化交流館で新型コロナウイルス感染症対策のもと開催されました。参加者は2日間で約3万人(オンライン参加者含む)にのぼり、OTC医薬品に対する関心の高さがうかがえました。

会場では、日本一般用医薬品連合会(日本OTC医薬品協会・日本家庭薬協会)に加盟する27社がブースを設け、それぞれ自社の医薬品などを来場者に紹介。医薬品の特徴をより詳しく説明するためのミニ講演会なども行われました。

実行委員長 藤井隆太氏の挨拶



製薬会社に直接質問できる機会とあって、来場者は薬の使い方や効用について担当者に熱心に質問。大きく頷きながら薬を手にする姿があちこちで見られました。

Q OTC医薬品とは？

A 薬局や薬店、ドラッグストアなどの棚には風邪薬や胃腸薬などたくさんのお薬が並んでいます。このような医師の処方箋がなくても店頭で購入できる医薬品のことを

OTC医薬品といいます。以前は、市販薬とか大衆薬、家庭薬などと呼ばれていました。ちなみに、医師が処方する薬は医療用医薬品といいます。

医療機関を受診するほどではないけれど不調がある、という場合に自分で購入できる身近な薬がOTC医薬品です。

*1 従来、医師の処方が必要でなかった医療用医薬品の中で、成分の有効性・安全性に問題ないと判断され、一般用医薬品に転換(スイッチ)させた医薬品のこと。

*2 対象となる医薬品は厚生労働省のホームページで確認できます。